

めだかくらぶ



子どもの食事

文責 端 晶子

先月のめだかくらぶは、「離乳講習会」を行いました。少人数でしたので、参加の方々もおしゃべりをしながら和やかな雰囲気でした。たくさん質問も出ていました。

離乳食では内容や硬さなど気を使うところも多いと思いますが、**食事の環境である椅子やテーブル、食器や食具、関わる人の介助の仕方**も同じくらい大切です。下記を参考にしてみてください。意外とうまくいかなかった部分に気付けるかもしれません。また、疑問に思うこと困っていることなどありましたら、お声掛けください。

食事はコミュニケーションの場として大切な場面です。 食事場面ほど子どもからの要求が出やすく、大人からの働きかけに対して反応が出やすい場面はありません。**ぜひ食事を子どもにとって、保護者の方々にとっても楽しくうれしい時間にしてほしいですね。**



離乳食講習会の様子



取り込み力が弱くても取り込むことができます。

介助スプーン① (通称ぺら)



介助スプーン②



介助スプーン③

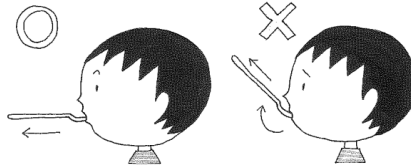


園で使用している介助スプーン

一口量がすくいやすい。汁があまりすくえない。

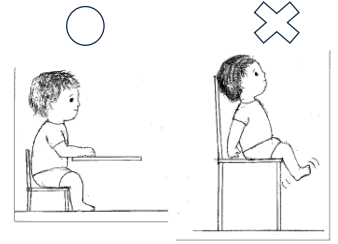
汁がすくいやすい。幅が狭いので、口の小さい子にも取り込みやすい。

●スプーンの引き抜き方



子どもはなれてくると、舌の上にスプーンのお尻がのっいたら、唇を閉じるようになります。唇が閉じたら、スプーンをまっすぐに引き抜きましょう。口に入った食べものが舌の中から前方のちょうどよいところにのります。

介助の仕方



足底がついて、膝が90度に曲がり骨盤が前傾していること。椅子の座面が子どもの横幅に合っていてテーブルの上に肘・手がのることが大事です。

椅子とテーブル

参考 山崎祥子・著
「じょうずに食べるー食べさせる」
「そしゃくと嚥下の発達がわかる」



ちょこっとコラム

このところハロウィンやクリスマスといった海外の行事が若者の中では盛り上がっていますね。では日本の年中行事に関してはどのくらい知っているのでしょうか？

豊玉保育園では日本の年中行事を大切にしています。ちょうどこれから日本人として大切にしたい年末、そしてお正月がやってきます。年が明けて初めて会う相手には「あけましておめでとうございます」と挨拶します。ここには「去年1年を無事に過ごして、新しい年を平穏に迎えられた」ことを祝う意味もありますが、「**年神様がやってきて1年の福をもたらしてくれた**」ことへの感謝やお祝いの気持ちも込められています。

年神様とは、豊作をもたらす五穀豊穡の神様であり、私たちのご先祖様であるとも言われています。**人々の健康や幸福をつかさどり、命をつないでくれる神様**です。年神様は元日にやってくると言われてるので、年末年始の風習には「年神様をお迎えする」という考え方に基づいたものが多くあります。大掃除をして一年の汚れを祓い清め、「**細く長生きできますように**」という**長寿の願い**を込めて年越しそばを食べ、門松や鏡餅を用意して除夜の鐘を聞きながら新しい年を迎え、お屠蘇やおせち、初詣など年末年始の伝承文化はたくさんあります。

日本の伝承には一つひとつ意味があります。子どもたちにぜひ伝えていきたいですね。

保育園は12月29日～
1月3日は休園です。



絵本の紹介



ぐりとぐらがどんな1年をすごしているかご存じですか？ページをめくると、ぐりとぐらが季節のうつろいを感じ取って、一年を生き生きと過ごしているのが良くわかる絵本です。

「ぐりとぐらの1ねんかん」 福音館書店
なかかわりえこ作・やまわきゆりこ絵

「めだかくらぶ」開催中

豊玉保育園では平日(月～金)、地域の親子の方々や**園庭や保育室などで遊べる「めだかくらぶ」**を行っています。時間は10時から11時30分までです。事前の申し込みはいりません。お気軽に遊びに来てください！玄関のインターフォンを押してくださいね。

月には1回のお楽しみプログラムもあります。今月は、

12月21日(木) 「楽しいつどい」

☆一緒にクリスマスの飾りを作ります！

「ふれあいランチ」もあります。「ふれあいランチ」は保育園の昼食を在園児と一緒に味わっていただくものです。
(ふれあいランチは先着3組まで。1日より予約受付費用：1食250円 離乳食には対応しておりません。)



絵本の貸出しもやっています！